

いきいきサロン

皆さんからの投稿でつくる、皆さんのページです

投稿募集中

お便り

義兄の健康法に学ぶ

仙台市泉区 小磯清光(7)

昨夏、久しぶりに山形県天童市で独り暮らししている義兄と再会し、驚いて帰ってきた。

89歳。妻の姉に先立たれて15年間、一日も欠かさず朝の散歩、町内会、老人クラブのグラウンド・ゴルフ、旅行、そして詩吟。欠かさないのは新聞のコラムをノートに書き写し、大きな声で読み返すこと数回の日々である。

時々、仙台に来て大好きな牛タンをペロリと食べるのも、楽しみにしているようだ。

小生も芸能ボランティア55年、古武道の柳生心眼流柔術の道場稽古の指導をして35年になってしまった。おかげさまで最近、中年の方の入門が増

えてきたのでうれしい。義兄に負けず、健康に注意して生きる。あせらないで。

社会の安全は家庭から実現

仙台市泉区 星宮守(88)

最近のニュースは明るい話題が減少し、暗いニュースが多くなってきたように感じられます。

その一つには、あらゆる社会活動の基盤となる治安情勢に原因があると思われまふ。犯罪件数は減少していますが、悪質で今までの常識では考えられない事犯が数多く発生していることは、ご承知の通りです。

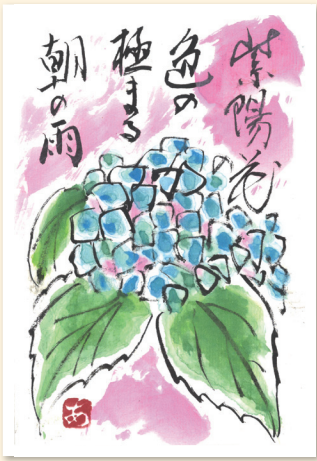
肉親間の命に関わる犯罪や、不特定者への残忍な致死傷事件などについては、恐怖感もさることながら怒り、むなしさを痛感させられます。あらためて「人の命の尊さ」や「連帯感を見つめ直すべき時にあると思います。」

「人間を育てるためには「家庭」「学校」「地域」が一体となって取り組む必要性が大きいと思います。」

まず、第一に「家庭」から実現すべきでしょう。

普段、父母は生活のために早朝から夜遅くまで働いていると、親子の接する時間が少なくなりまふ。そこで春、夏、冬の学校休業期間を利用して、親子の対話を多くしてもらい、絆を強めていただくことが人間を育てるための一助だと思います。

一人一人が「自らの安全は自らが」「家庭の安全は家庭から」を守り、お互いに知恵を出し合い、気配りし合つて明るい家庭を築くことが、ひいては地域の安全につながると思ひます。お互いに努力し、安全で明るい社会を築き、育成しましょう。



多賀城市 鈴木朝夫(81)



夢の世界(巨理町) 仙台市泉区 大橋光男(82)



薫風(鳥海山) 仙台市太白区 熊谷まさ子(78)



石巻市 伊藤すみ子(72)



富谷市 加川師亨(83)

第26回 宮城シニア美術展

作品募集



- 募集対象/日本画・洋画・書・写真・工芸の5部門
- テーマ/自由
- 応募資格/県内在住の60歳以上のアマチュアの方
- 出展申込料/1作品500円(出展は各部門1人1点)
- 申込期間/7月1日(日)~10月31日(水)
- 展示会場/宮城県美術館 県民ギャラリー
- 展示期間/11月29日(木)~12月2日(日) ※入場無料
- 審査/各部門専任審査員が審査します(表彰式あり)
- 優秀作品/2019年開催の「ねんりんピック紀の国わかやま2019」の美術展部門へ出展させていただきます



申し込み・問い合わせ

宮城県社会福祉協議会いきがい健康課

TEL022-223-1171 <http://www.miyagi-sfk.net/>